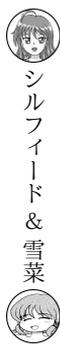


雪菜とシルフィードのネーヴェント・コンチエルトV



シルフィード & 雪菜

■ オープニング

シル 「つたく、ホント寒いわね……このボロエアコン、すこぶる効が悪くて全然暖かくな
ない癖に電気バカ食っているし、ねえ聞いた？ 作者の家、今月の電気代二万円の大
台突破したって泣いていたのよ、一人暮らしでなにやったらそんなことになるのか……」

雪菜 『さ、最初から全力全開で悪態をつかない方が良いと思うのですよ!? それに作者さんが
今月家に引き籠もっていたことにはちゃんと理由が……』

シル 「昨年末のコミケ前日に事故って車がなくなっただけでしょ？ どんだけ運が悪いのよ」

雪菜 『そ、それは、停車していたところに相手が飛んで来たのではどうしようもないのではな
いのでしょうか……?』

シル 「まあ、今のところ身体には問題ないみたいだから、悪運だけは強いわよね、アイツは」

雪菜 『ご本人もそれだけが取り柄と自覚はあるみたいなのですけどね……』

シル 「さて、こんな不幸話を年明け最初のイベントから話しているとか、幸先が悪すぎるので
ここは気を取り直していきましようかね」

雪菜 『自分で振っておいて……なのは、シルさんらしいのですよ……そ、それでは雪菜と――』

シル 「――シルフィードの『ネーヴェント・コンチエルト』!」

雪菜 『先日よやく初雪の降った場所からお送りするのです!』

■ パッケージ版・威沙

シル 「昨年末のコミケで配布したパッケージ版・威沙二〇一四年冬コミバージョンが今回の
配布物となります。……いい加減、自分の作品出せよ、書けよ作者」

雪菜 『お、お仕事も忙しいですし、事故の処理が未だに終わらないので仕方が無いのですよ……』

シル 「まあ、事故の処理の件は同情するけどね。しかもセレナさん全損が確定でしょ？ 泣く
に泣けないわよね、確かに」

雪菜 『さ、さて、この冬コミパッケージですが、通常リリース版のみならず、開発版、Mac
マンドライン開発版、64ビット開発版などいろいろなおまけも入っているのです!』

シル 「使う人がいるのか謎なバリエーションよね、それ」

雪菜 『そ、そういうことを言っははいけないのですよ……』

シル 「それよりも、このパッケージに収録されているバージョン、バグ有りなんでしょ？ よ
くもまあそんな物を臆面も無く出せるわよねえ」

雪菜 『仕方が無いのですよ……問題が見つかったのが冬コミ前にこの『ネーヴェント・コンチエ
ルト』を書いていた時なのですから、さすがにもうメディアの書き込みも終わってしまっ
ていたのですし……』

シル 「というわけで大変申し訳ありませんが、収録したバージョンには一部不具合が見つかつ
ておりますので、威沙のサイトに掲載してある最新版をダウンロードしてご利用くださ
い」

雪菜 『作者さんも継続して開発を続けているので、ご意見がありましたらサイトの掲示板や「
witten」にてよろしくなのです』

シル 「遂にGUI付きのMac版も作ってみたよね。ダウンロード数がアレ過ぎて泣きそうになっ
ているみたいだけど」

雪菜 『だ、だからそういう悲しい内情を次々に暴露するのは作者さんが可哀相すぎるので止め
た方がいいのですよ……』

■ 近状

シル 「昔からやっているオンラインゲームに再び嵌まっているようです」

雪菜 『い、一応、お仕事も忙しかったり、事故対応が大変だったり、威沙のMac版開発をやっ
たりもしているのですよ……』

シル 「しかも、ゲーム内で借金までしてアイテム買ったりしたから返済で泣きそうになっ
てみたいだけどね」

雪菜 『……身の丈に合った装備で我慢することも必要なのですよ……』

シル 「威沙の開発ですが前述の通り『威沙 for Mac』という形でGUI付きのバージョンをリリー
スしています。基本的な動作はWindows版とほぼ同様ですが、細かい設定処理などは現
時点では未実装となっています」

雪菜 『使用してくれる方がいれば徐々にWindows版と機能的には近づけたらいいので、よろ
しくなのですよ!』

シル 「昨年末からのフィーバーのこともあり、様々な方々から威沙本体への要望が色々出て
いますので、対応出来るものについては順次対応を行っています。また開発版もいい加
減通常リリースへと移行させたいので動作確認にご協力頂ければ幸いです」

雪菜 『あのフィーバーは本当に凄かったのです! 未だに『威沙のサイト』へのアクセスが途
絶えないのですし、ダウンロード数も以前の数倍以上になっているのです!』

シル 「既に現在サイトにてリリースしている開発版には頂いた要望の機能が実装されています
し、手元ではその他の要望機能のテストも着手しているようです。……で?」

2 雪菜『はい?』

シル「いつになったら本来サークル存在意義である『執筆』は再開されるのかしらね? 二年

くらいまでもに書いていないんじゃないの?」

雪菜『も、もうしばらくでお仕事が落ち着くそうなので、それ以降になるのではないかと……』

シル「そういうわけで、いつも通り期待せずにお待ちください!」

雪菜『か、軽いのですよ……!』

■ 次回予告

シル「今回は……コミケツトスペシャルかしらね?」

雪菜『申込はしているそうなのですが、まだ結果が分からないらしいのです』

シル「もし奇跡が起きて当選していたときにはよろしくお願いします。で、落ちたら次は五月

のコミティアだけ……!」

雪菜『そっちの参加はまだ流動的だそうなのです。ちょうどお仕事が再び忙しくなる時期らしいのです』

シル「今回もゴールデンウィークの後半だから予定は立てづらい面もあるしね!」

■ エピソード

シル「さて、さて今回もネタが無いので早々と終了です!」

雪菜『……もう何も言わないのですよ……!』

シル「じゃあ、せつかくだから要望があつて実装した『段中挿絵機能』をお披露目しようか?」

雪菜『おお! それらしい終わり方なのです! それではどうぞなのです!』

※注ここでタグを入れました。

シル「次の段の右側に『麗しき風の妖精』であるあたしこと、シルフィードII G II アストライアの姿が現れたと思えますが……!」

雪菜『……シルさん……!』

シル「なによ?」

雪菜『どうしてここでシルさんの絵なのですか!?!』

シル「いや当然でしょ? アンタの絵つてあのっぺりとした『たれ〇んだ』みたいなのかないじゃない?」

雪菜『いやいやいや、わたしの絵がないのはそれはそれで残念無念なのですが……って、そ、

それはともかく、ここは普通『威沙』さんなのではないのかと……!』

シル「もう散々出しているからいいじゃない? ここで久しぶりにあたしの姿を出しても!」

雪菜『威沙パッケージ版と一緒に入っている『文庫本作成法』で出ているじゃないですか!』



シル「あーそーゆうこともあつたわねえ、確かに。まあそれは置いておいて……というわけで、このような形で機能追加の要望にお応えしていますので、また何かありましたらよろしくお願いします。それではまたの機会に!」

雪菜『しれつと終わらせないで欲しいのですよおっ!』

雪菜とシルフィードのネーヴェント・コンチエルトV おしま

文責:風野旅人 Mail:tabito@din.or.jp Twitter:http://twitter.com/tabito_kazeno

(威沙関連告知用:https://twitter.com/izuna_tokido)

Sylphid Software Systems & 旅人のザック (http://www.din.or.jp/~tabito)

PS.

雪菜『どなたか、どなたかわたしの絵を描いて欲しいのですよ……!』

シル「あ……Hiroshiさんが忙しすぎて全然手がつけられていないもんね……!」